



神奈川県

KANAGAWA

神奈川県悪性新生物登録事業年報

ANNUAL REPORT OF KANAGAWA CANCER REGISTRY

(第 49 報)

— 神奈川のがん —

CANCER INCIDENCE AND DEATH IN KANAGAWA

令和4年（2022年）の集計

令和 8 年 4 月

神奈川県健康医療局保健医療部

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立がんセンター

はじめに

日本のがんの罹患数および死亡数は高齢化により一貫して増加を続けており、がんに罹患した人数は2021年に年間988,900人であり、がんによる死亡者数は2024年に384,111人に及んでいます。神奈川県は人口約920万人と規模も大きいことから、東京都、大阪府に次いで全国で3番目に多くのがんが発生しており、これは日本全体の約6.8%にあたります。神奈川県においても、増え続けるがんを克服することは重要な社会課題となっています。がん登録では、このような医療施策の基盤となるがん統計の継続的な提供のため、日々がん情報が収集されています。

神奈川県悪性新生物登録事業は、都道府県のがんの現状や傾向の把握を目的とした「地域がん登録」に該当する事業です。本事業は全国的にも早い1970年に、当センターの前身である神奈川県立成人病センターと神奈川県医師会との共同事業として設立されました。1977年からは神奈川県が実施主体となって現在の名称となり、以後50年以上の長きにわたり、本県のがん対策に係る施策の立案、推進に不可欠な事業として継続されています。当センターの研究部門である臨床研究所のがん予防・情報学部は、現在でも登録業務および窓口機関の役割を担い、神奈川県のがん統計を支えています。

2016年には全国を対象とする「全国がん登録」が開始されたことで、各都道府県が有していた「地域がん登録」は「全国がん登録」に一本化され、順次その役目を終えることとなりました。しかし神奈川県ではこれまで長期にわたり収集してきた当県独自の情報の継続性や、この長期にわたるがん情報が医療機関や研究機関で活用されつづけている現状を鑑み、現在でも全国がん登録と並行して、本事業を継続しています。今後は、本県独自の事業である強みを活かし、本登録事業の意義と価値をさらに高めるための取り組みを進めて参ります。

本事業で収集されたがん情報は、医療施策の基盤であるがん統計として利用されるのみならず、医学研究においても大いに活用されています。がん罹患・がん死亡の情報をもとに、がん発症に影響を及ぼす要因の検討や、将来のがん罹患数の予測が可能となり、さらにそれを活用して、がん検診の精度管理や医療提供体制の検討など自治体の健康医療施策や臨床現場での活用に結びつく研究も進められています。医療従事者や研究者の皆様、自治体の皆様にもぜひ有効に利用していただきたいと考えています。

この「神奈川県のがん登録(第49報)」は、県内医療機関の皆様のご協力を得て、2022年の本県の罹患、死亡及び受療状況についてまとめたものです。この報告書が関係各方面の皆様のお役に立つこととなれば幸いです。

最後になりますが、今後とも本事業の推進につきまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年3月

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立がんセンター 総長 古瀬 純司